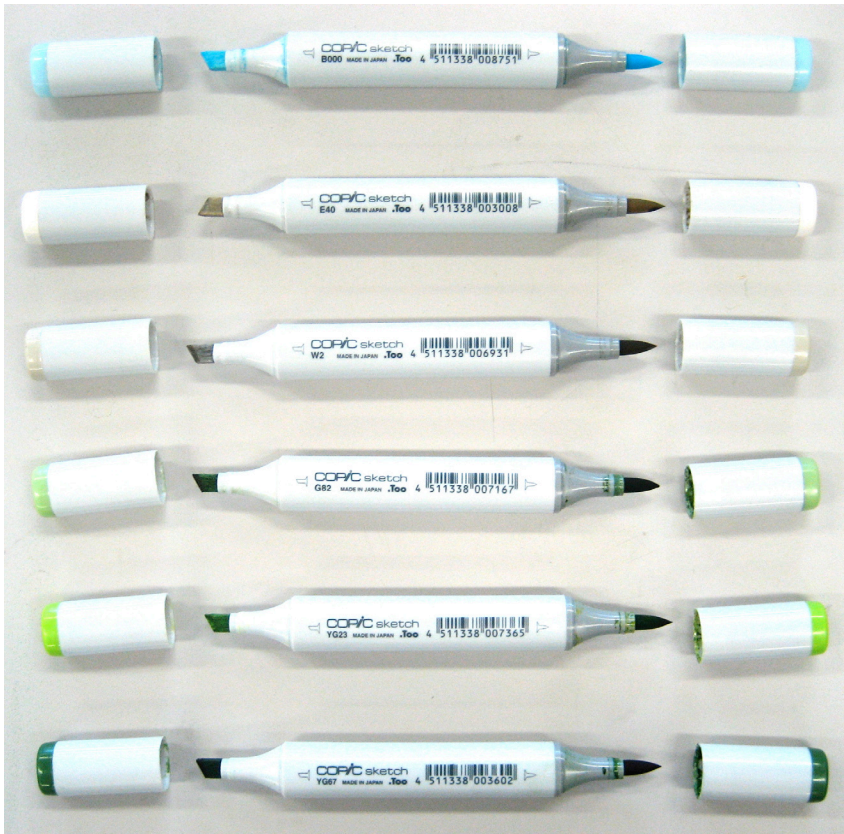


河川の景観デザインにおいて 5分～30分で手軽にスケッチを描く方法

1. 道具の準備

必要な道具

- ・コピックスケッチ Copic sketch (筆付きのもの)



B000 (Pale Porcelain Blue)

E40 (Brick White)

W2 (Warm Gray No. 2)

G82 (Spring Dim Green)

YG23 (New Leaf)

YG67 (Moss)



- ・鉛筆 (3B から 6B まで) 1 本
カッター やナイフで芯を長く削る事で線の太さを調整することができる。

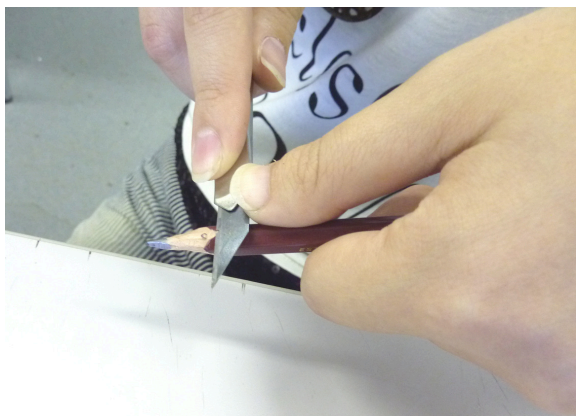


- ・サクラコンテパステル (青緑)

- ・コピー用紙と下に敷く紙
- ・カッター
- ・修正液 (筆付きのボトルに入ったもの)
- ・ティッシュ

2. 鉛筆の削り方

- ①左手に鉛筆を軽く握り、親指は削る方向に向ける。
- ②右手にカッターもしくはナイフを持ち、鉛筆と交差させる。



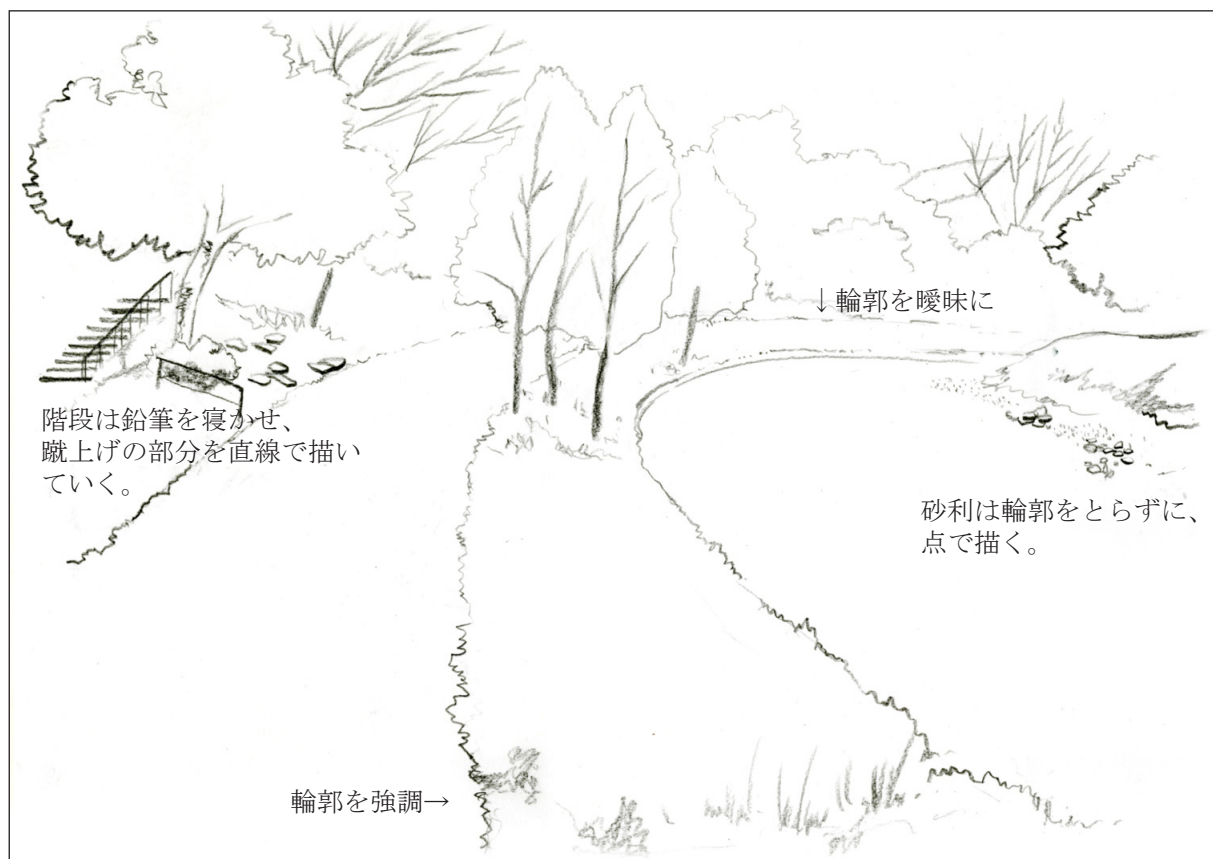
- ③六角形の角に刃をあて、左手の親指を刃の背におく。
左手の親指だけ前に押し出して切っていく。
カッター (ナイフ) は寝かせ、薄く切っていく。

3. 個別の描き方

現場写真



上の写真をスケッチでどのように表現するかを描いていく。



使用する道具：鉛筆（6B）

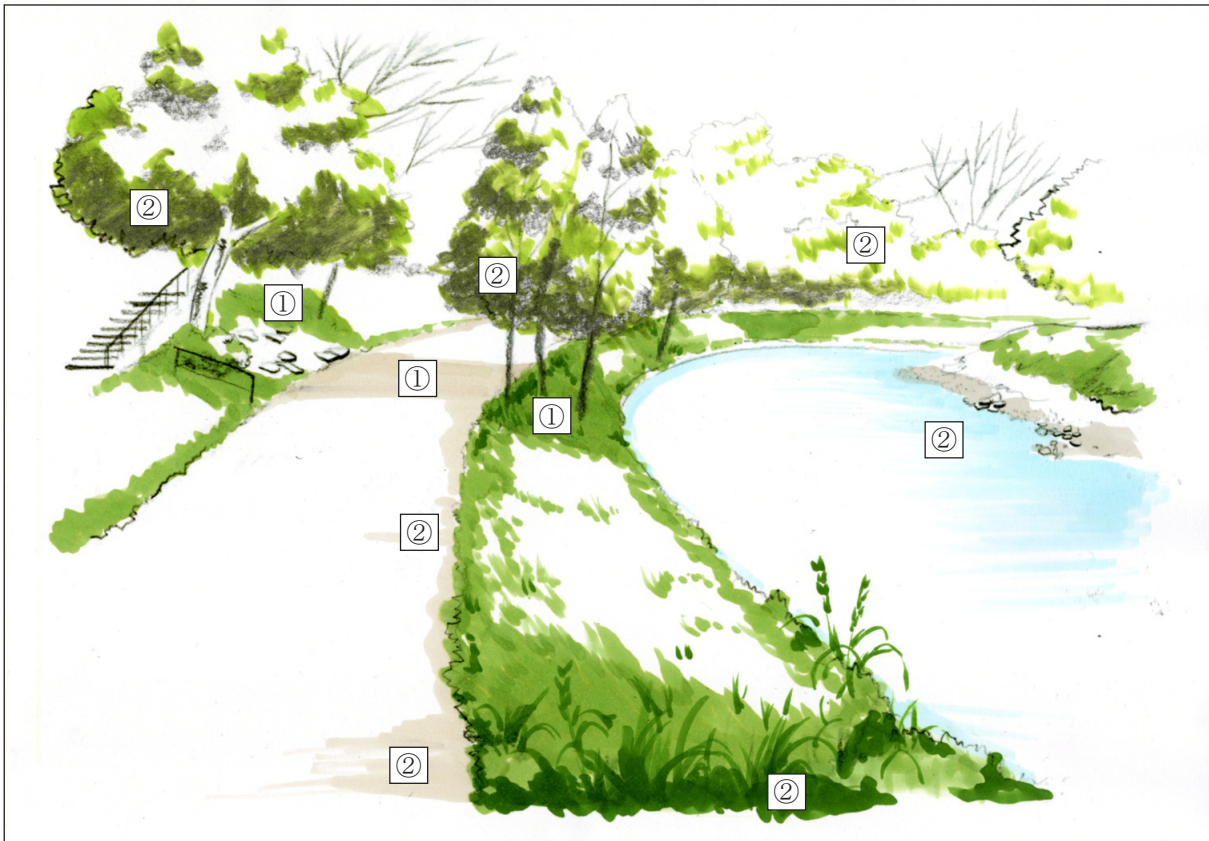
まずは鉛筆で描いていく。

近いところほど線は太く、輪郭を強調する。

遠いところほど線は細く、または途切れ、曖昧な表現で構わない。

3. 個別の描き方

色を塗るときは陰影のみを着色する



point カゲに着目する。

カゲには2つの意味がある。

「影」・・・物が光に当たったとき、外部にできるカゲを意味する。

「陰」・・・物が光にあたったとき、内部にできるカゲを意味する。

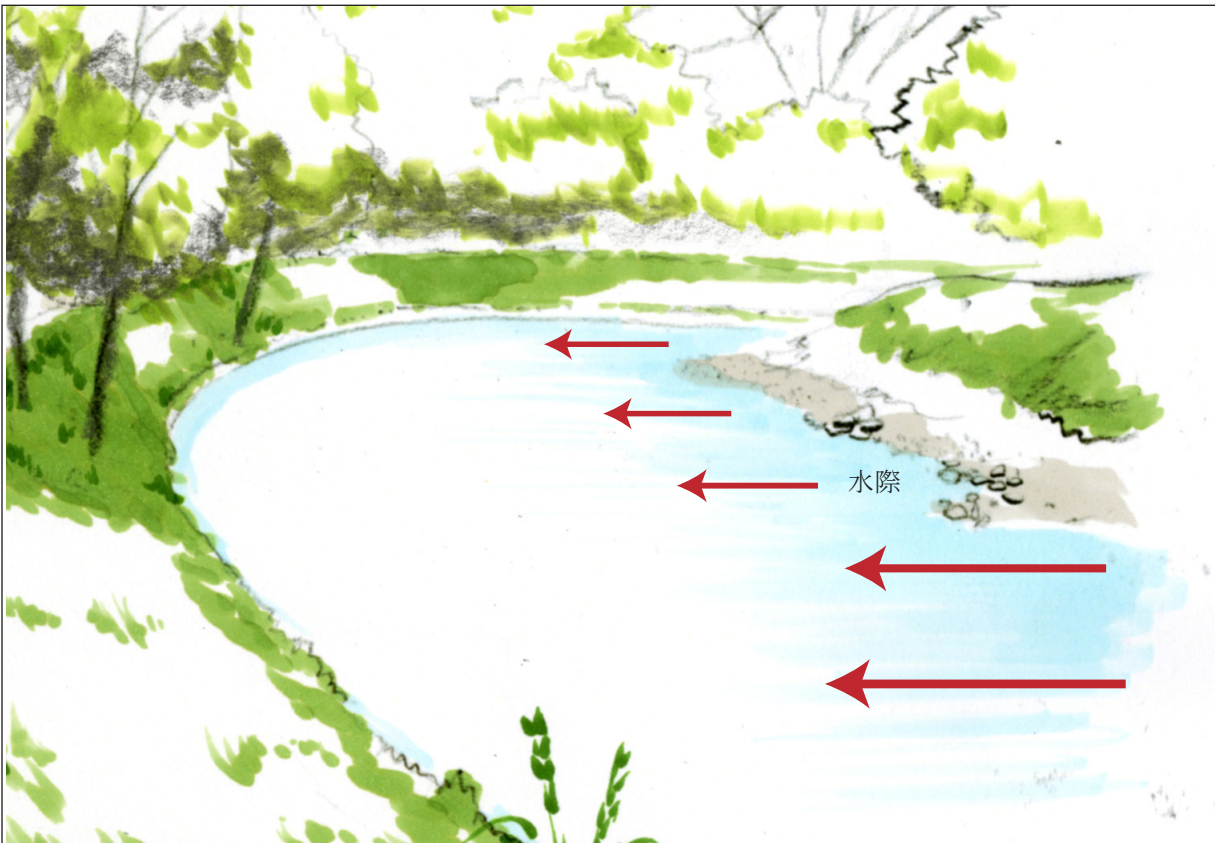
上のスケッチでは、①が影。②が陰である。

全体を塗らずに、陰影のみを着色をし時間を省く。

うまく陰影を使って、素材感を伝えたい。

3. 個別の描き方

水面の表現

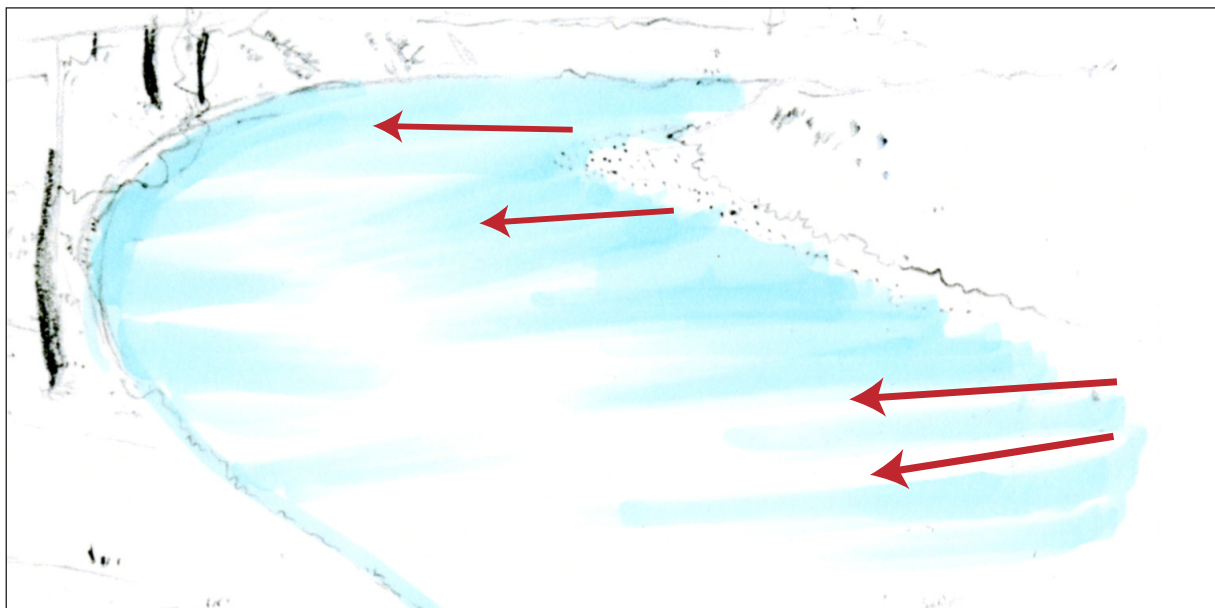


使用するコピック : B000 (Pale Porcelain Blue)

水際から水平線を引く様に、まっすぐ描く。

中心に向かって筆を浮かすようにし、だんだん細くなっていく様にする。

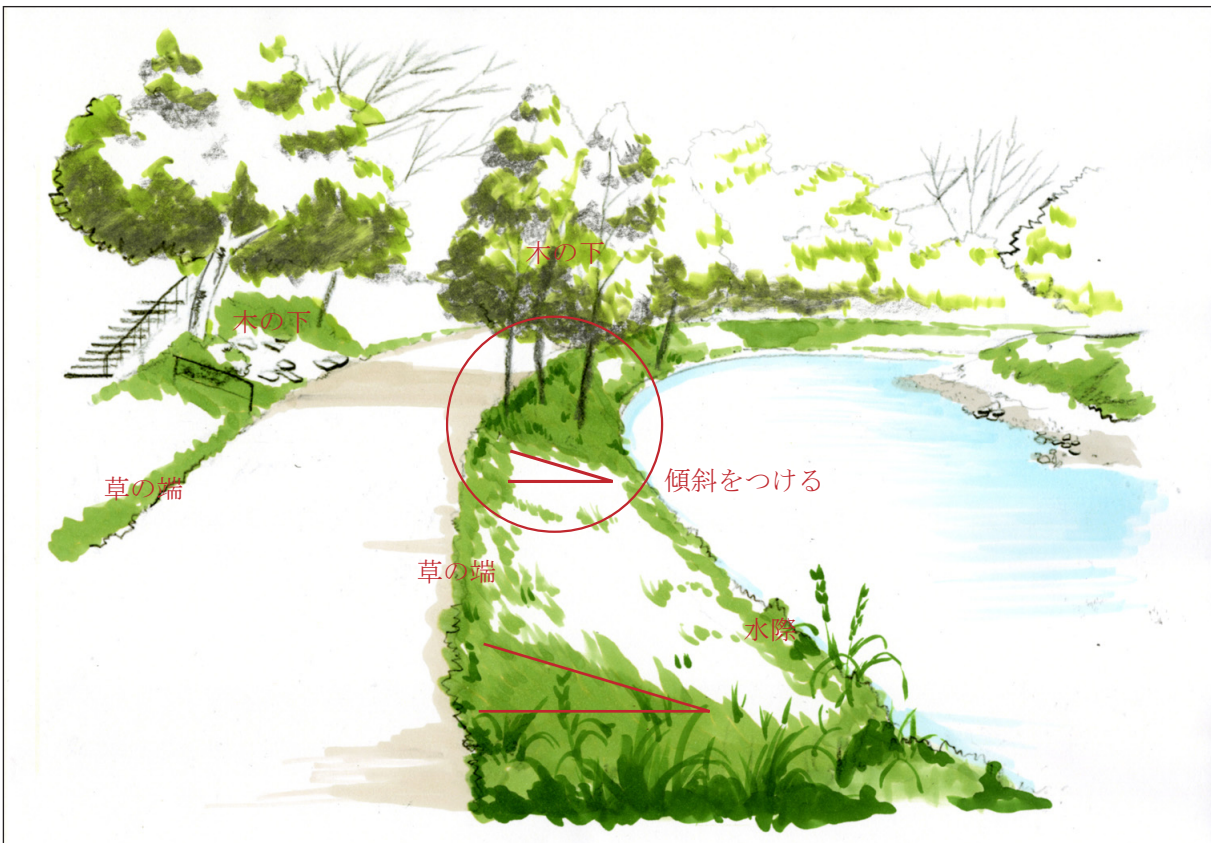
失敗例



方向が定まっていないと不自然な水面の動きに見えてしまう。

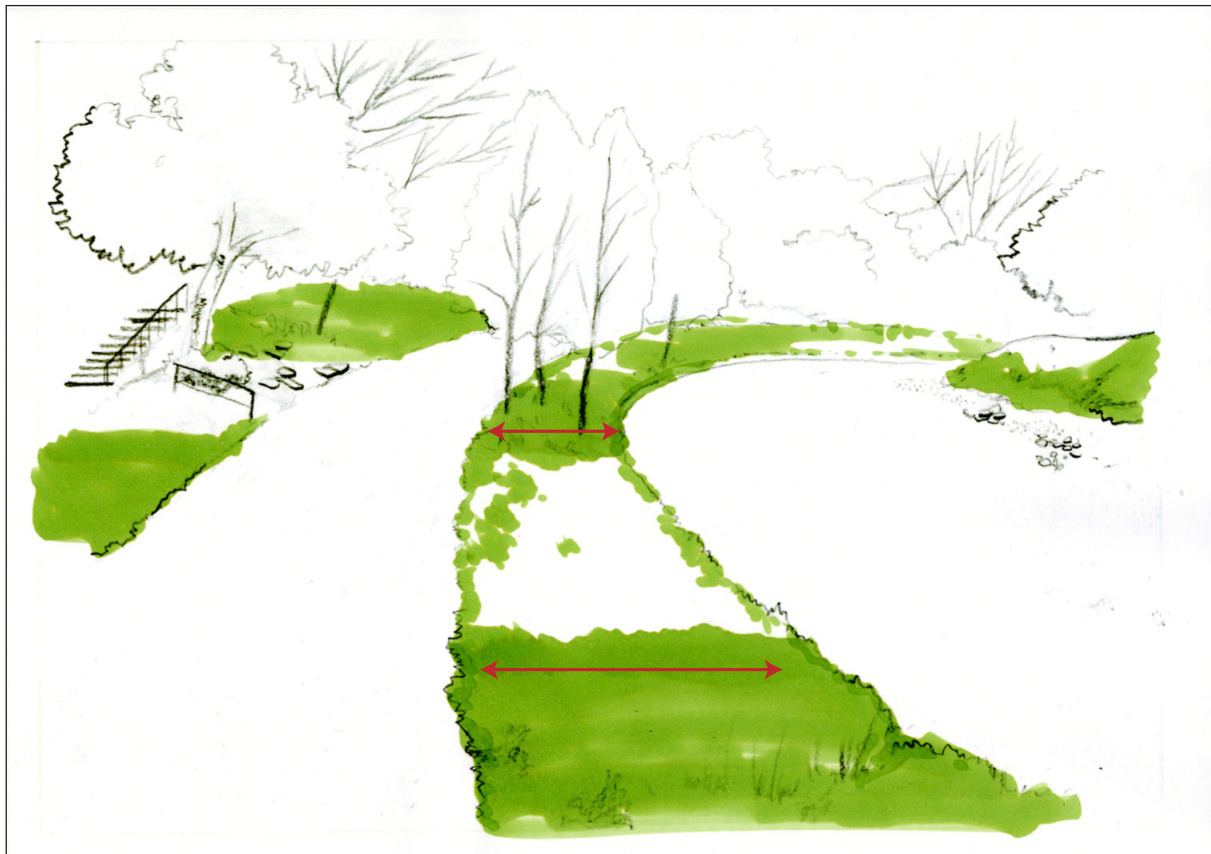
3. 個別の描き方

法面の表現



使用するコピック : G82(Spring Dim Green)

主に近い所、木の下、水際や草の端付近といった陰影となる所を塗っていく。
傾斜がかかっているため、塗り方に角度をつける。
筆先の置き方も斜めにすると法面の表現ができる。



使用するコピック : G82(Spring Dim Green)

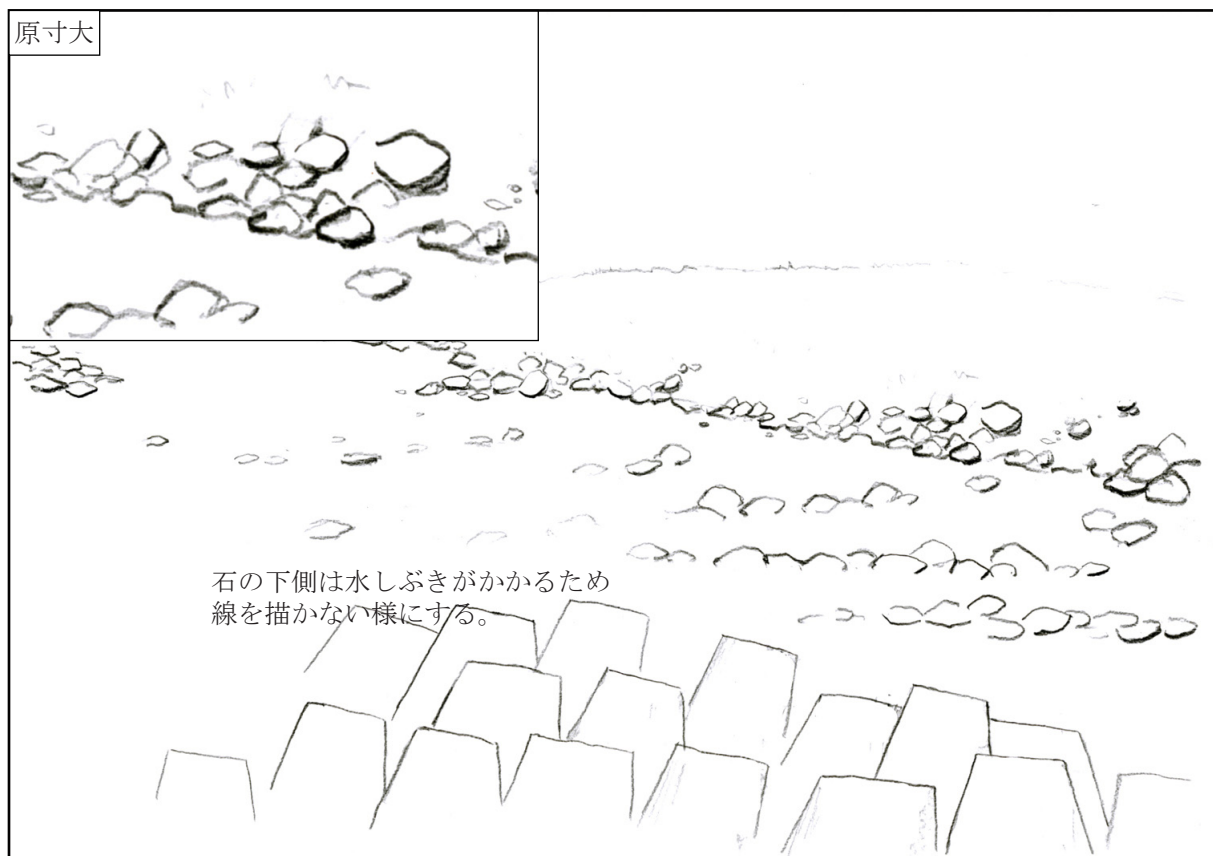
水平方向に塗ってしまうと、平らな表現になってしまう。

3. 個別の描き方

現場写真



上の写真をスケッチでどのように表現するかを描いていく。



使用するもの：鉛筆（6B）

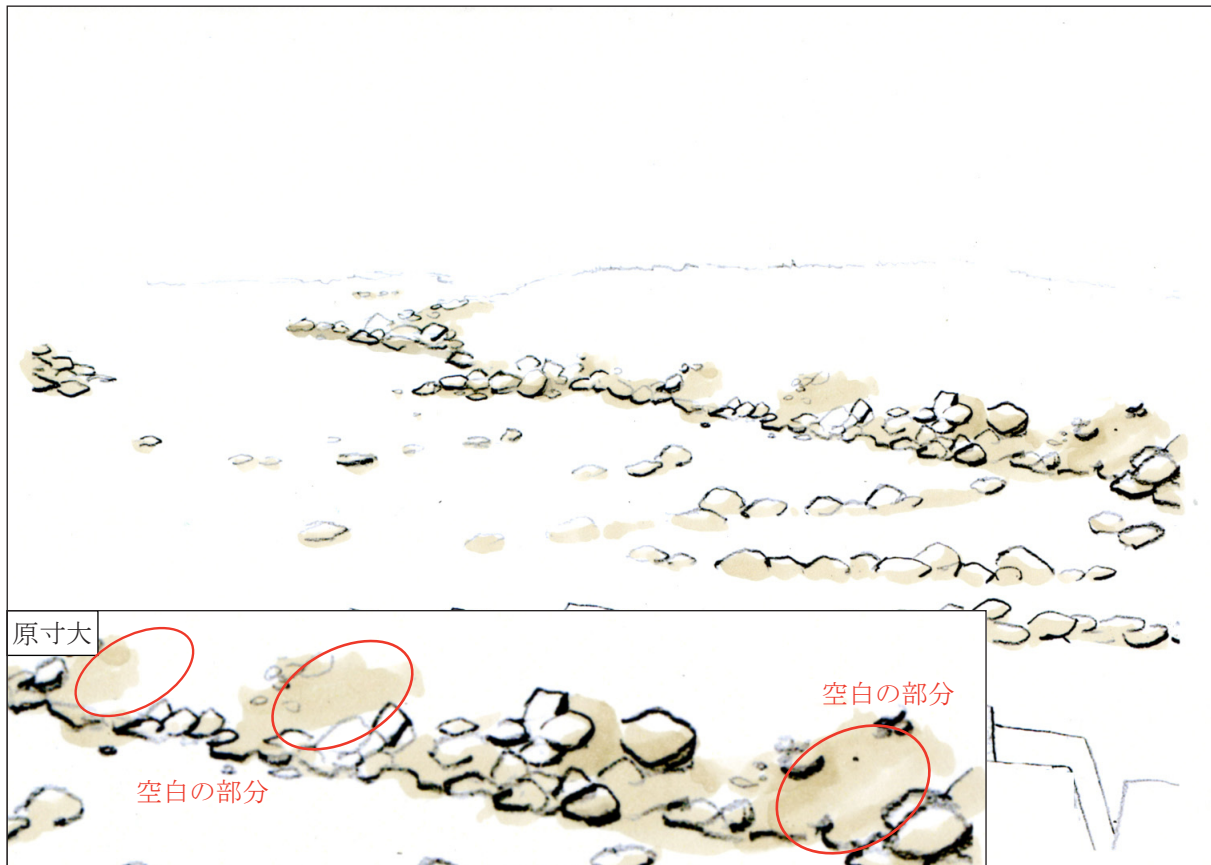
石の陰となる部分は鉛筆を寝かせ、紙に押し付けるように描く。（ワンストローク）

玉石のように無数に存在するものは全部描こうとせず、省略する。

主に水際に接する玉石を描いていく。

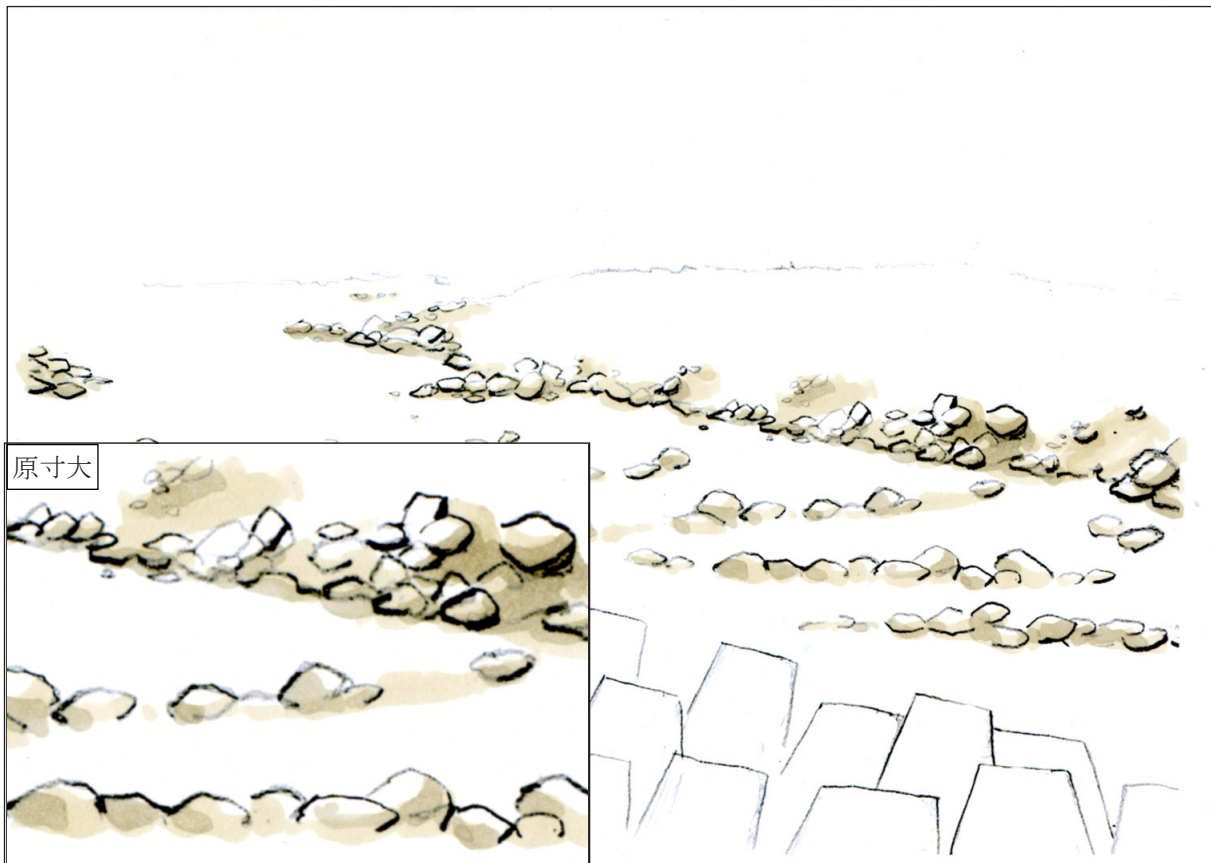
3. 個別の描き方

石の描き方



使用するコピック : E40 (Brick White)

石は白い部分 (何も塗らない所) を残しながら、空白の部分 (鉛筆で石の省略している部分) を塗ることで省略した玉石の存在を際立たせる事ができる。

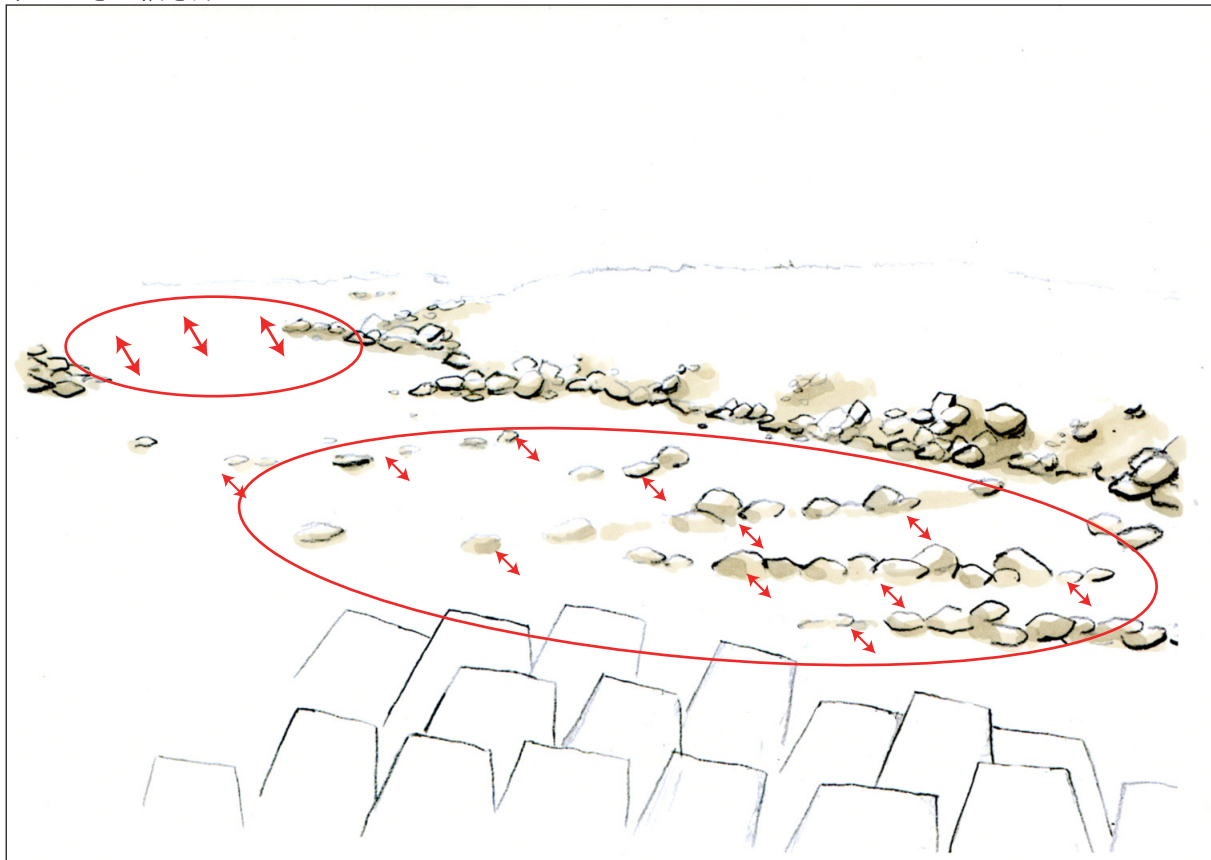


使用するコピック : W2 (Warm Gray No. 2)

石の下側、石と石との重なり合った場所に陰をつけると立体感が生まれる。

3. 個別の描き方

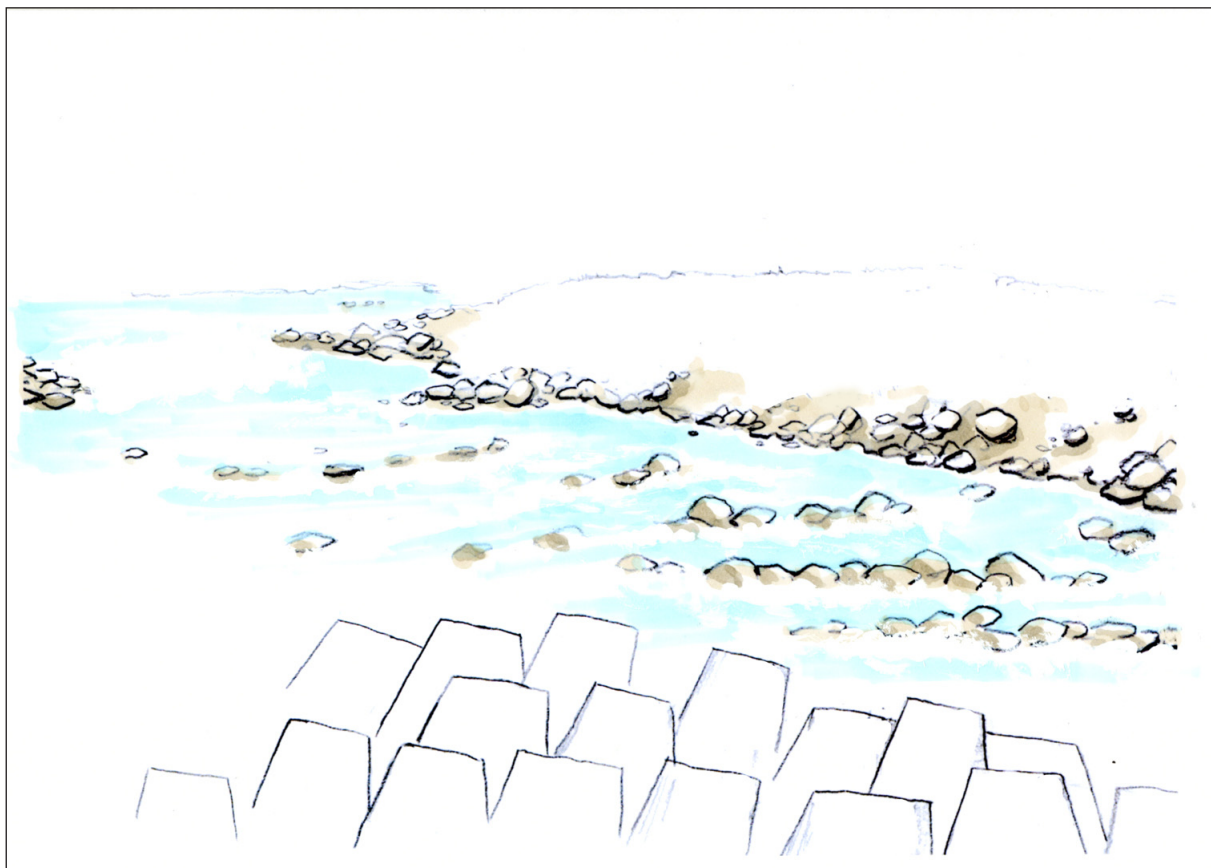
水しぶきの描き方



使用する道具：筆付修正液

石の下側に修正液を塗っていく。

筆を叩く様に塗ると、かすれが出やすく水しぶきの表現がしやすい。

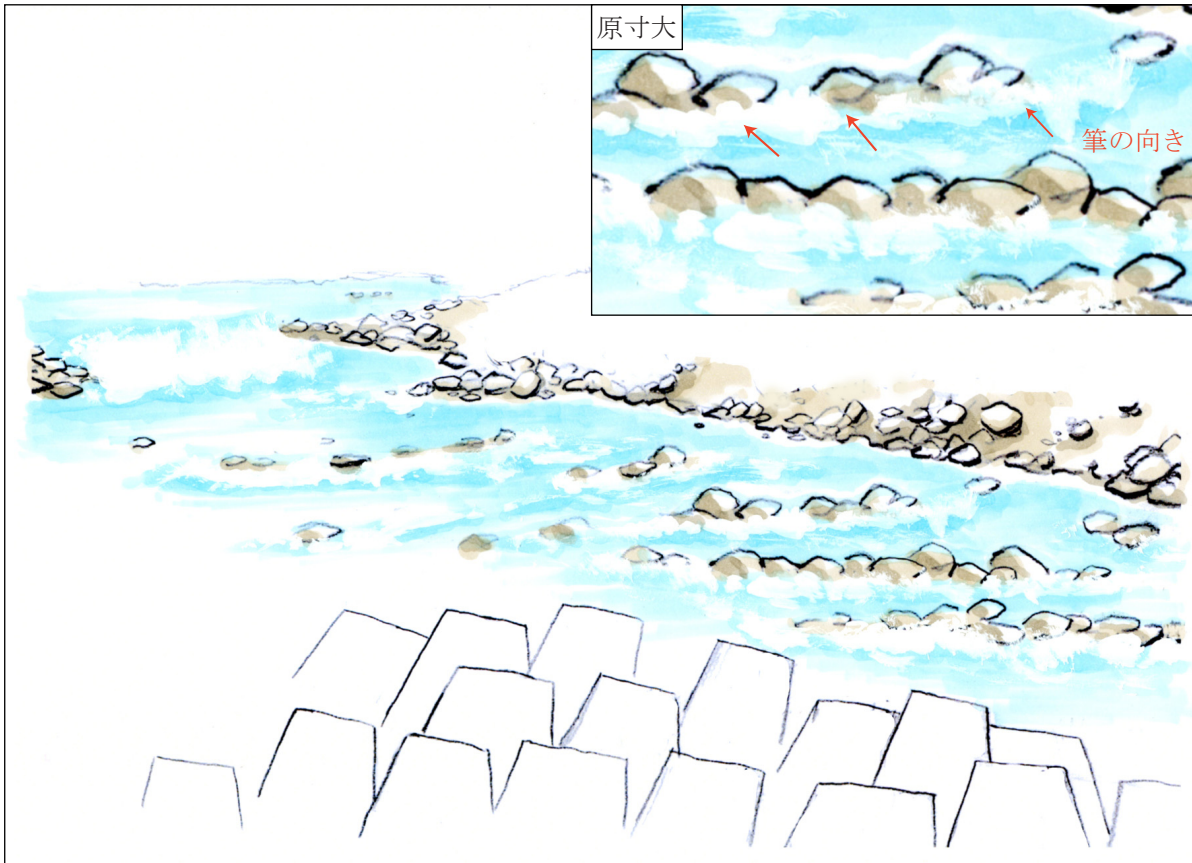


使用するコピック：B000 (Pale Porcelain Blue)

まず水平方向に塗っていく。修正液をつけた箇所もかまわず塗ってもかまわない。

3. 個別の描き方

水しぶきの描き方

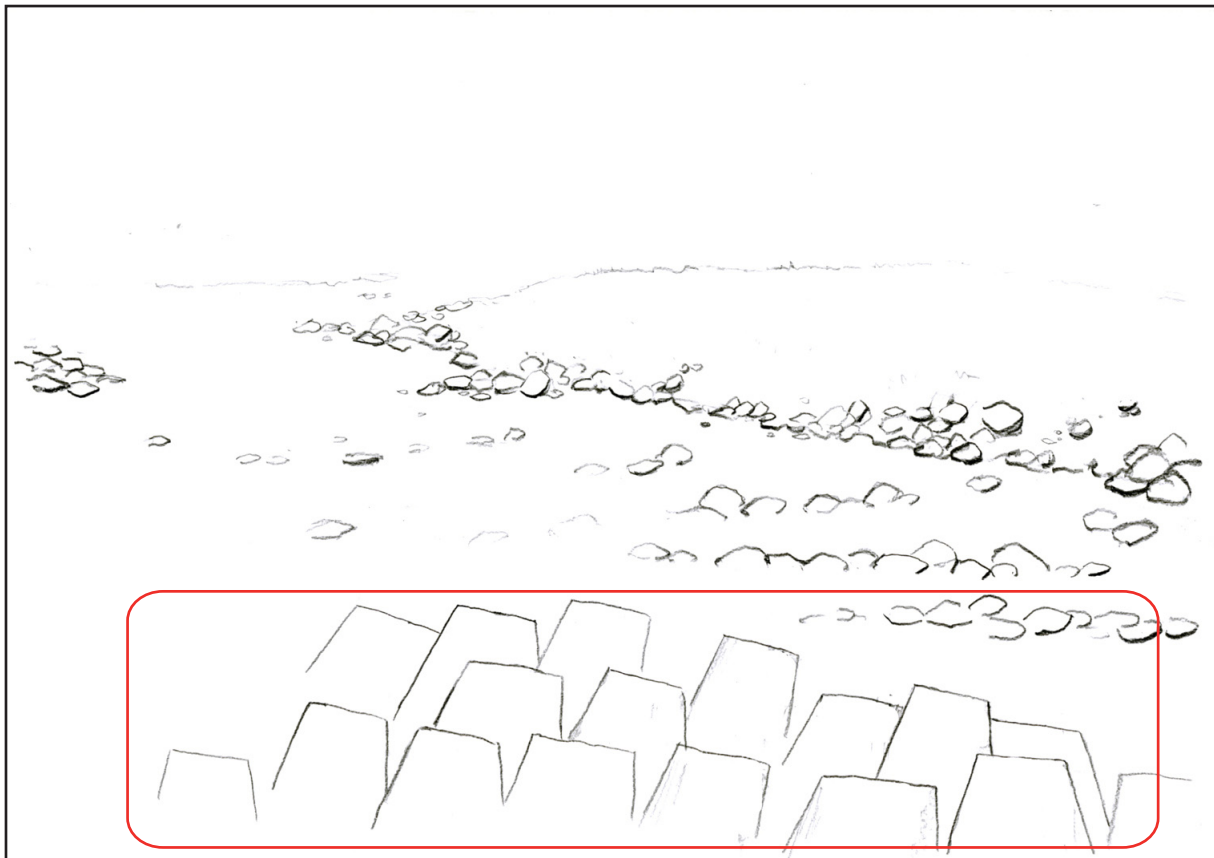


使用するコピック : B000 (Pale Porcelain Blue)

最後に修正液で塗った箇所に向かって塗る。すると水しぶきの深い部分ができる。

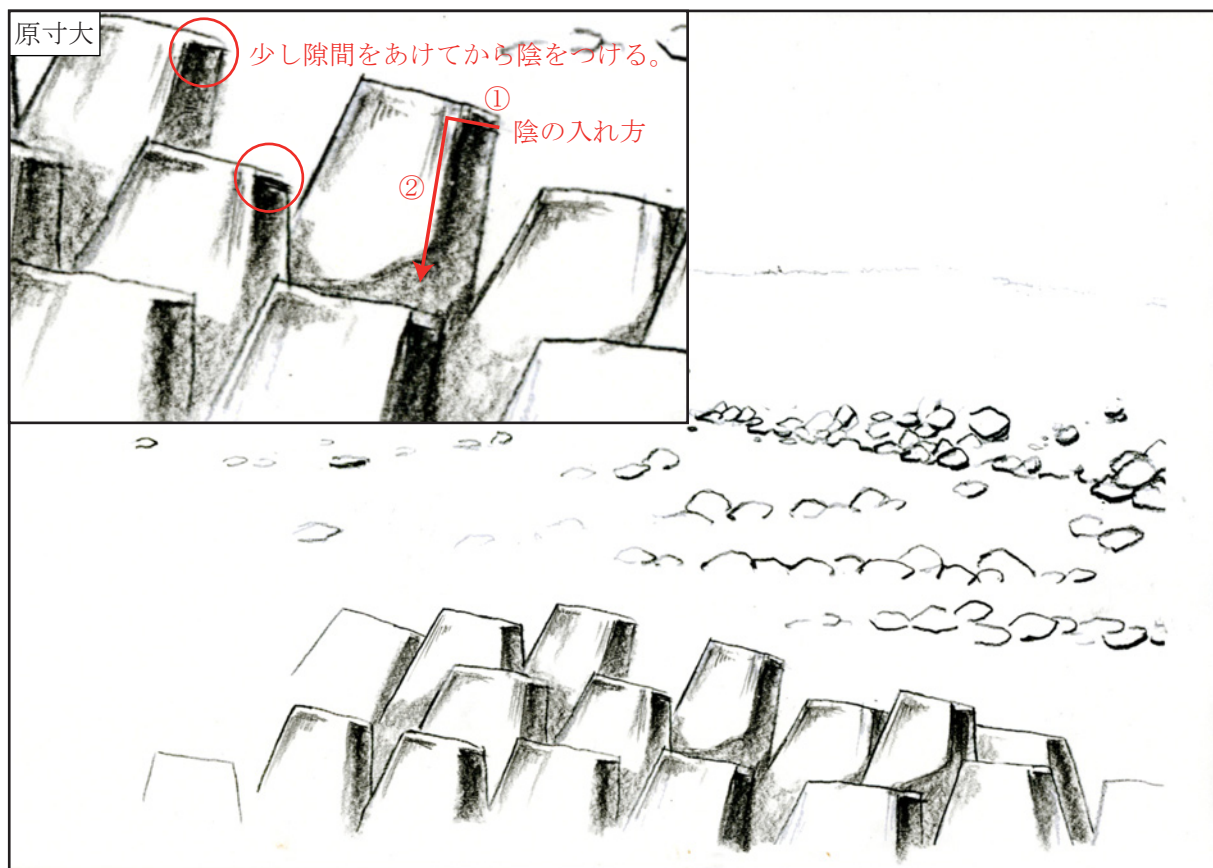
3. 個別の描き方

コンクリートの描き方



使用するコピック：鉛筆（6B）

コンクリートの表現は鉛筆のみで行なう。まずはおおまかに形をとる。



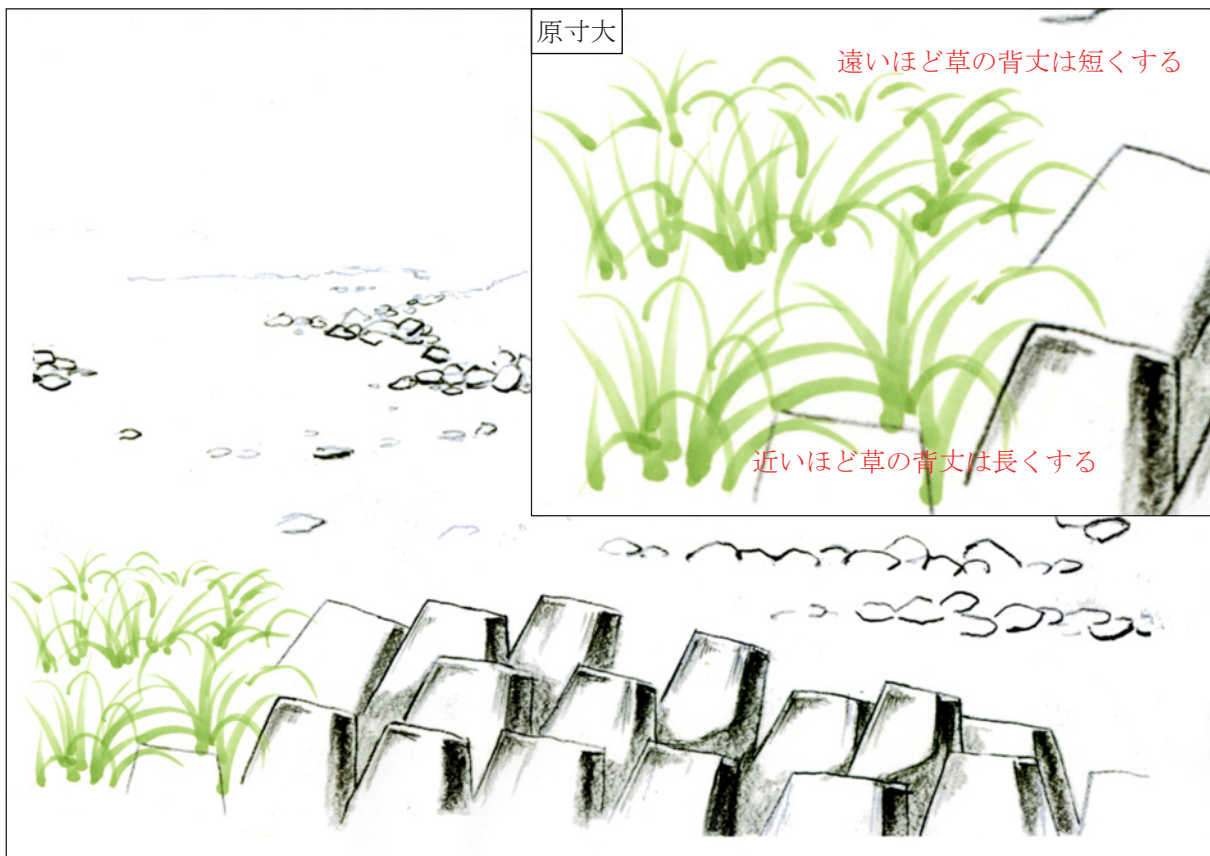
使用する道具：鉛筆（6B）

①は一番濃く描く。

②のところで鉛筆を寝かせ側面やブロックの重なる部分を主に陰をつけていく。

3. 個別の描き方

草の描き方



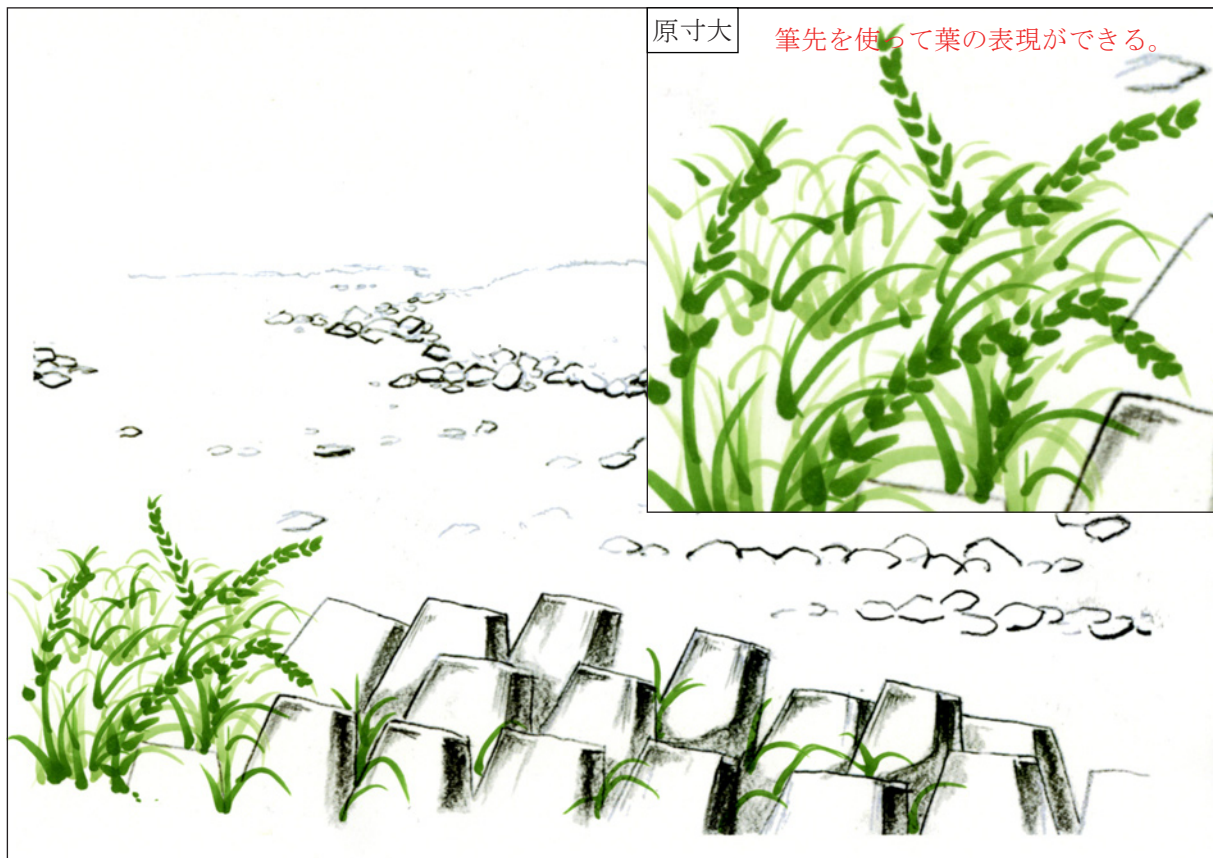
使用するコピック : G82 (Spring Dim Green)



草の表現には筆を使うのが最適である。

手前の草は一本一本が見えるように、筆先を使って描いていく。

背丈をバラバラにさせ、葉先の方向をそろえない様になると自然な表現になる。



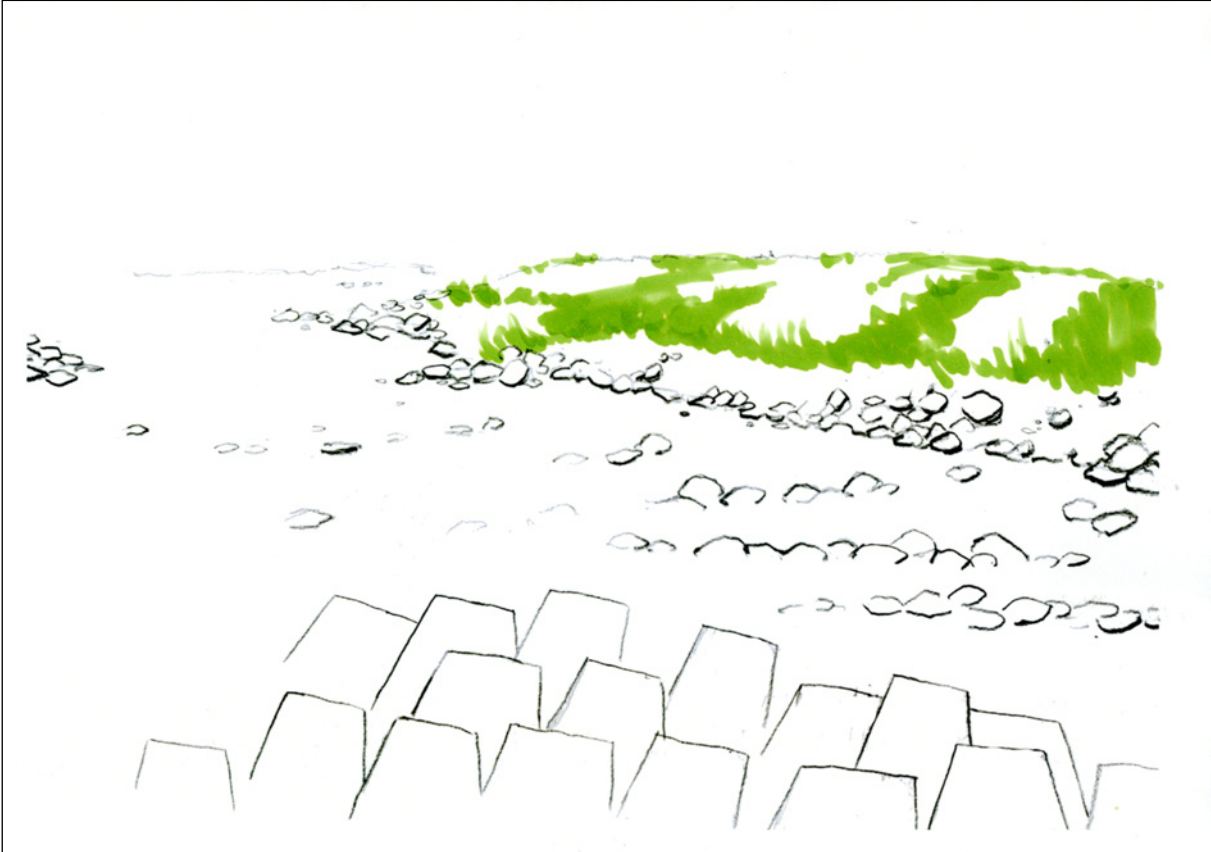
使用するコピック : YG67 (Moss)




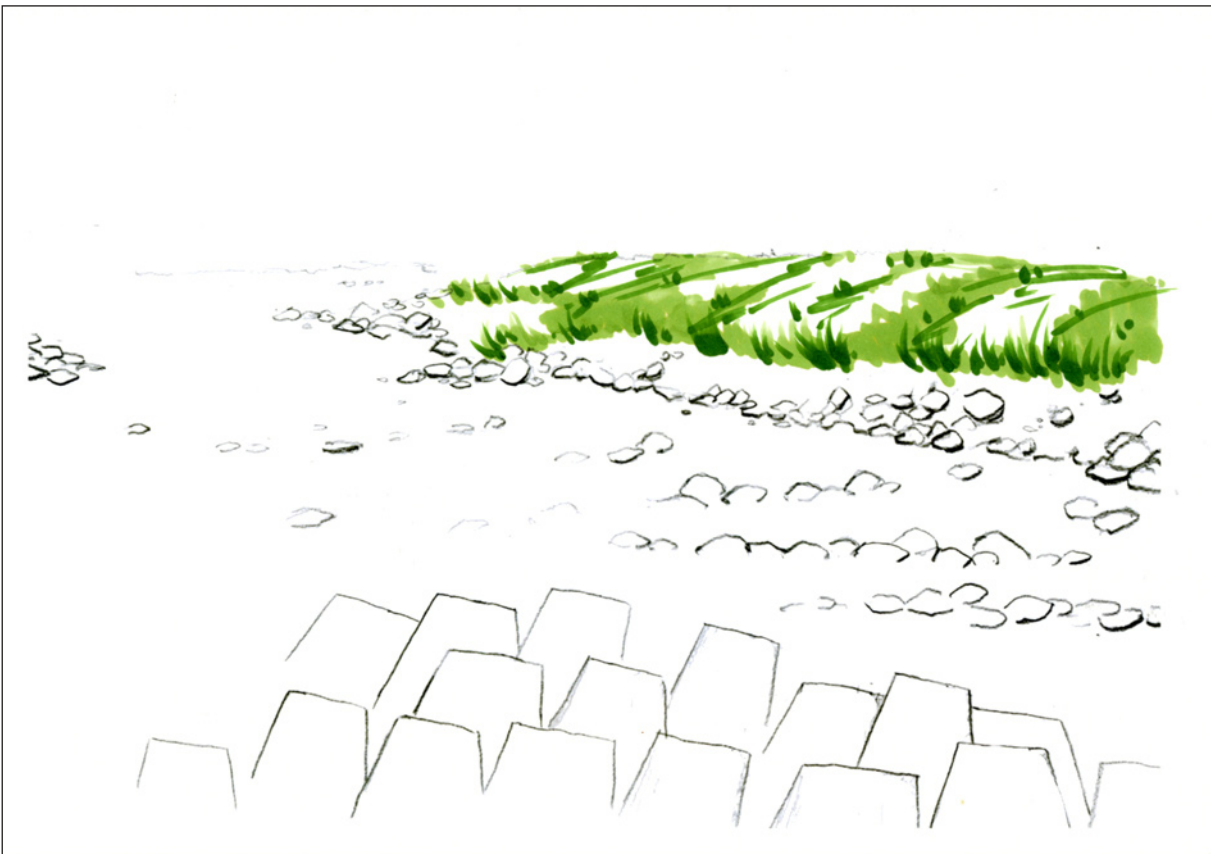
さらに濃い色で草を重ね、遠近感を出すとともに草の量を表現できる。


3. 個別の描き方

草原の描き方



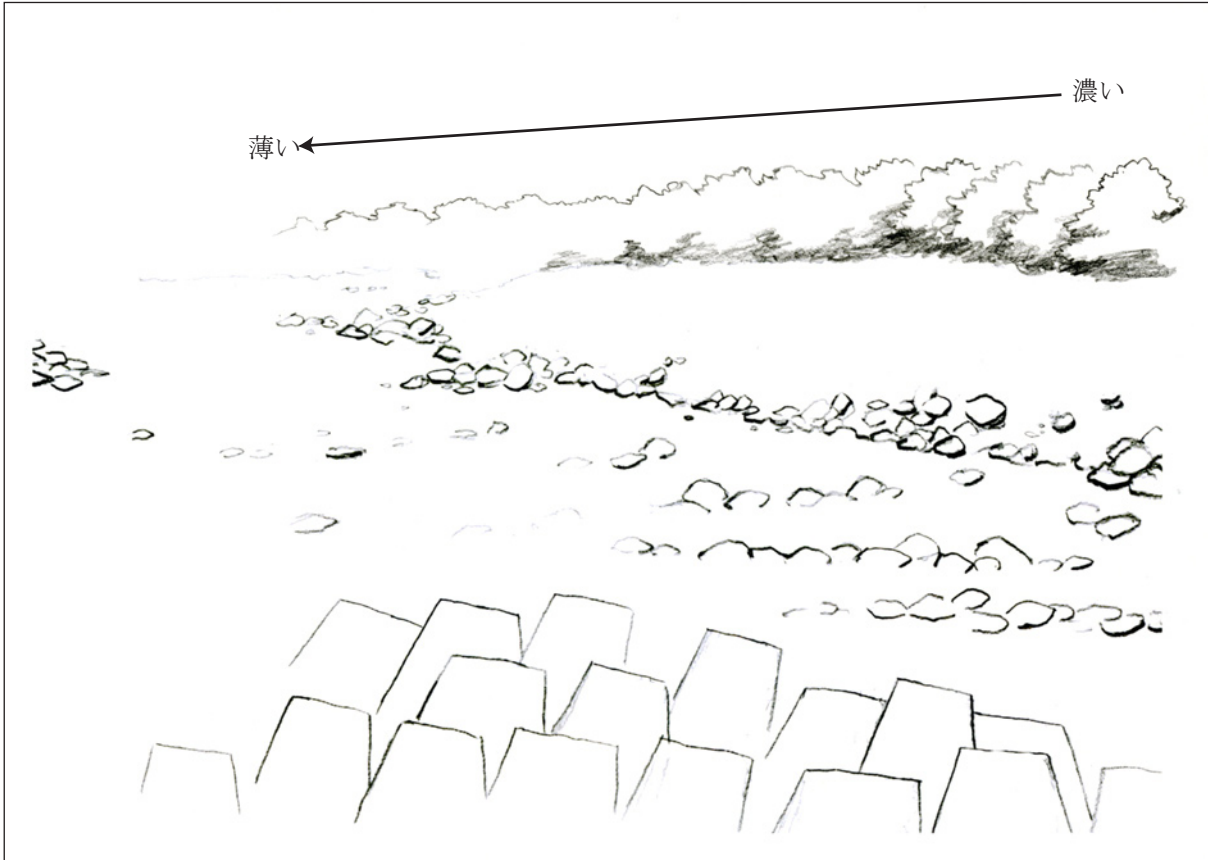
使用するコピック : G82(Spring Dim Green) 
筆先を使って、草を描き白い部分を残しながら塗る。



使用するコピック : YG67(moss) 
濃い色を使って、平べったいZの形を斜めに引いていく。その上に、草をかきこんでいく。

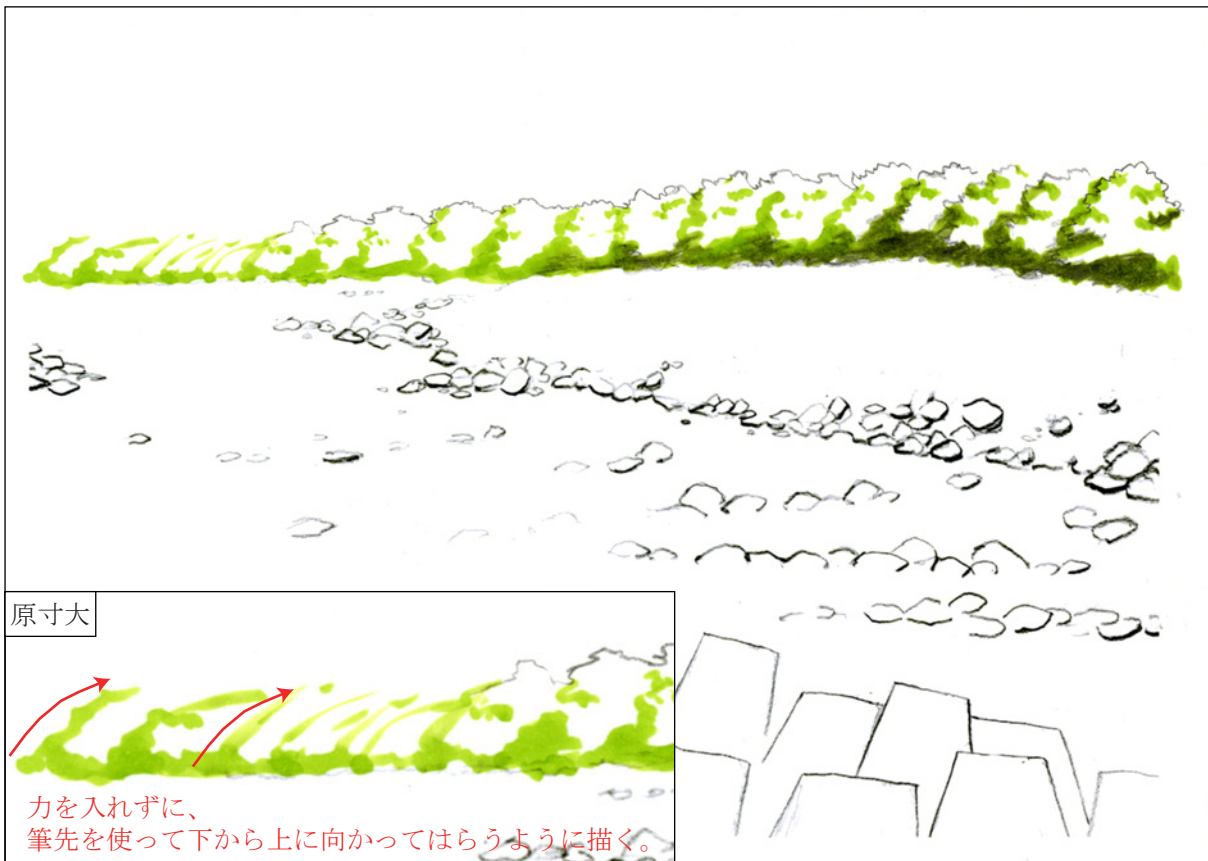
3. 個別の描き方

樹影の描き方



使用する道具：鉛筆（6B）

樹影の線を鉛筆で描き込んでいく。近くは、はっきりと遠くなるほどあいまいに描いていく。また近くの木の下は鉛筆を寝かせ、濃く塗っておく。



使用するコピック：YG23 (New Leaf)

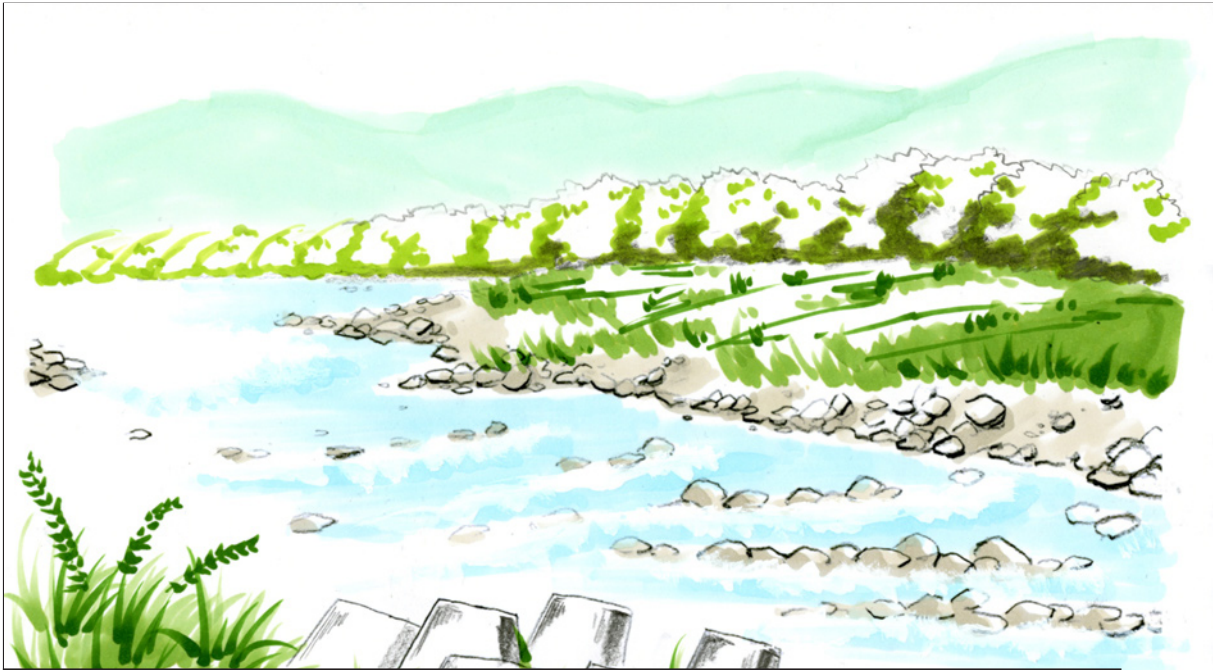
樹影をなぞるのではなく、木と木が重なる所、樹冠（葉の茂み）を主に塗る。また遠い所ほど、陰の間隔を狭めることで遠近感を出す。

3. 個別の描き方

山の効果

- ・山を描く事でスケッチに距離感が出る。
- ・周りの環境を知る上で役に立つ。

コピックでの着色

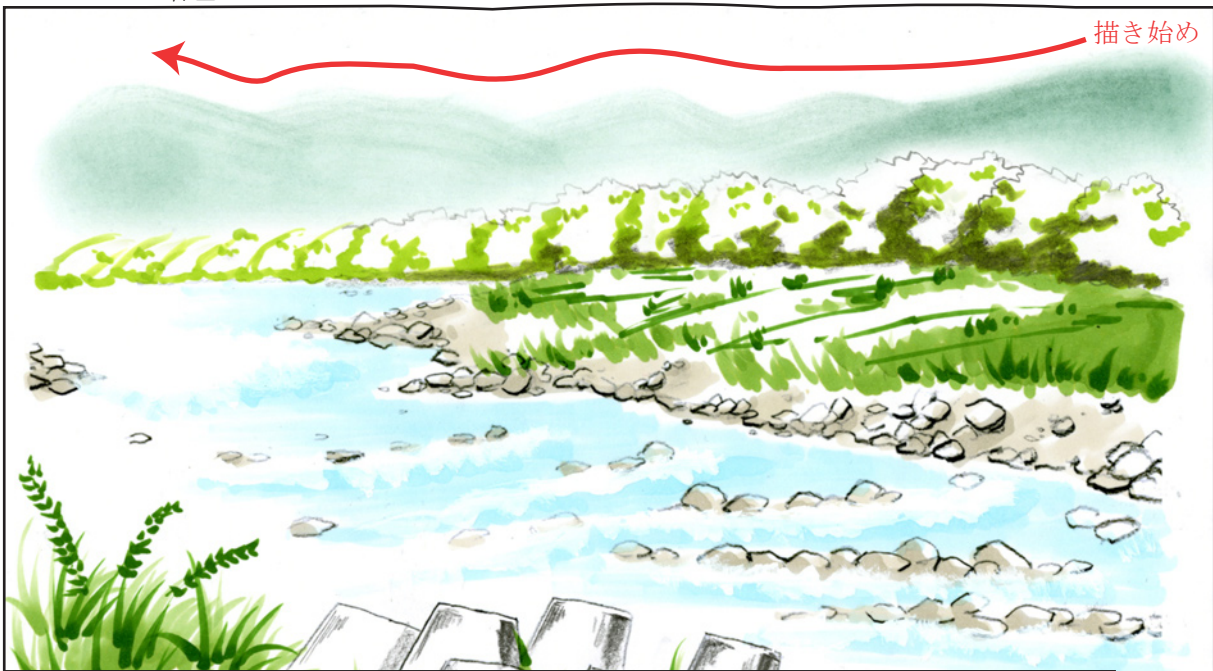


使用したコピック：BG10(Cool Shadow)

山はスケッチに占める割合が広範囲なため、コピックで塗る事が難しいことがわかった。

- ①広範囲を塗ろうとするとどうしても色むらができてしまい、また時間がかかる。
- ②省いて塗ろうとすると、山が浮いた存在になり、山の効果が半減する。

パステルでの着色



使用したパステル；あおみどり（サクラコンテパステル）

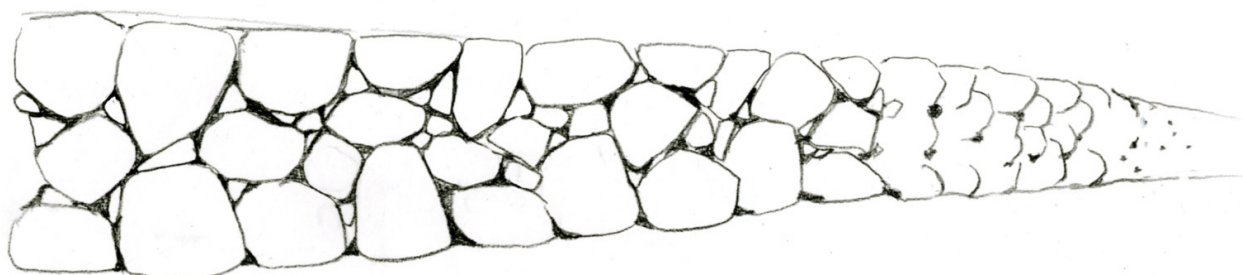
パステルを削り、その粉をティッシュにつけ、こすると色をぼかすことができる。
描き始めが濃い表現となり、山の遠近感が生まれる。

3. 個別の描き方

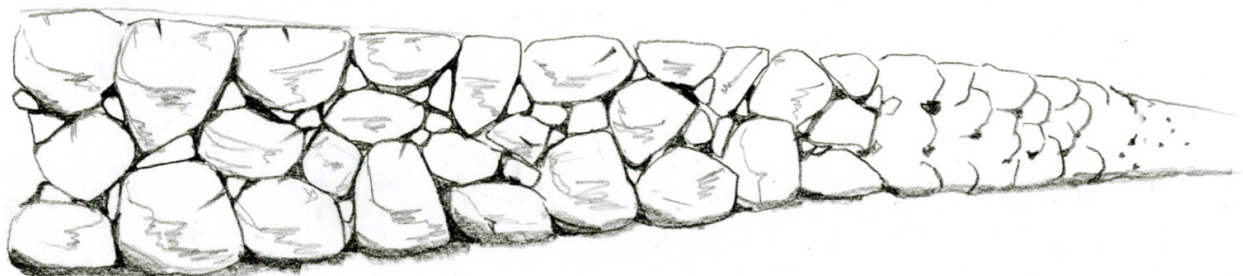
石積みの描き方



使用する道具：鉛筆（6B）
大きい石を隙間を空けて描いていく。



隙間に小さな石を埋めていく。その際に、石と石の隙間に三角（▲）を埋めていく。



近くの石の表面は平べったいZの形を描いてゆく。



使用するコピック：E40（Brick White）
鉛筆で陰を入れた場所より大きめにコピックを塗っていく。

個別の描き方

落差工の描き方



下流から上流をみた写真である。

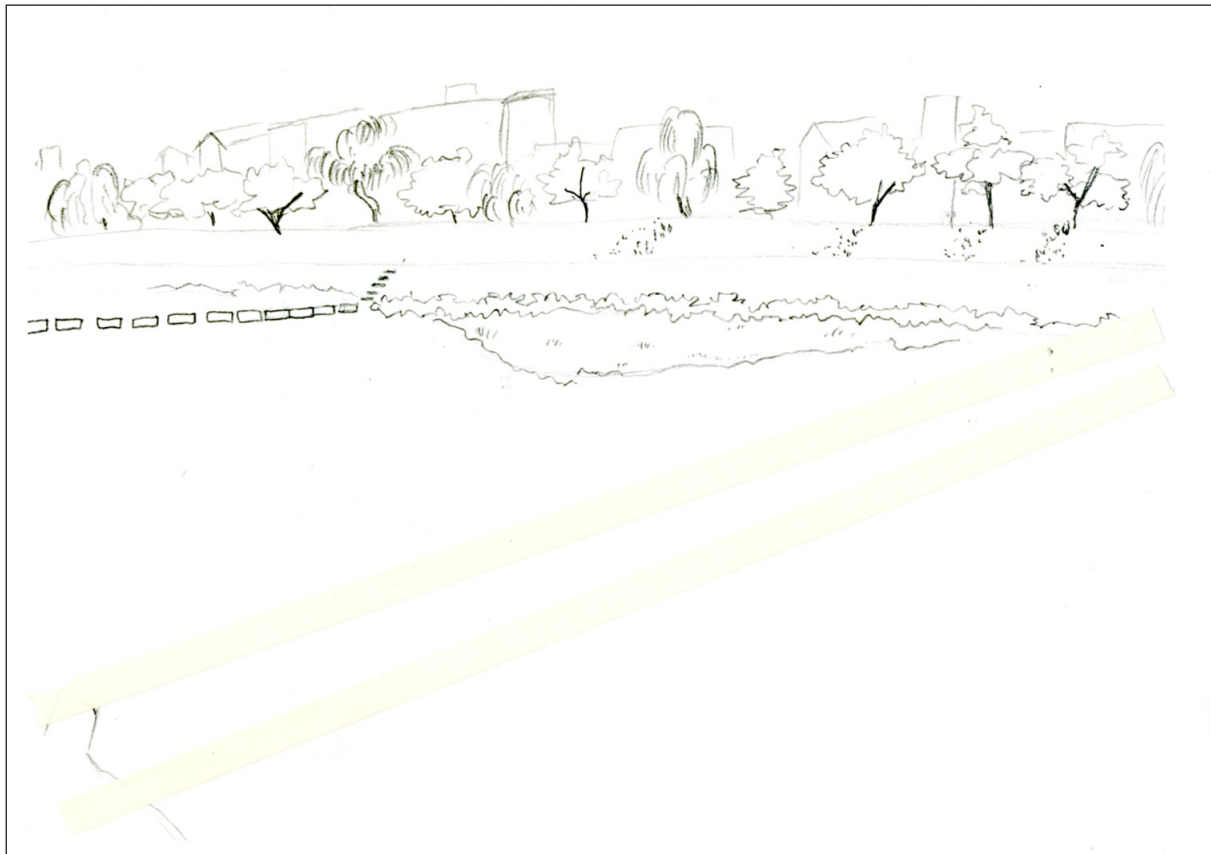
4-5. スケッチ



大まかに描き、落差工の部分は鉛筆で描き込まない。

3. 個別の描き方

落差工の描き方



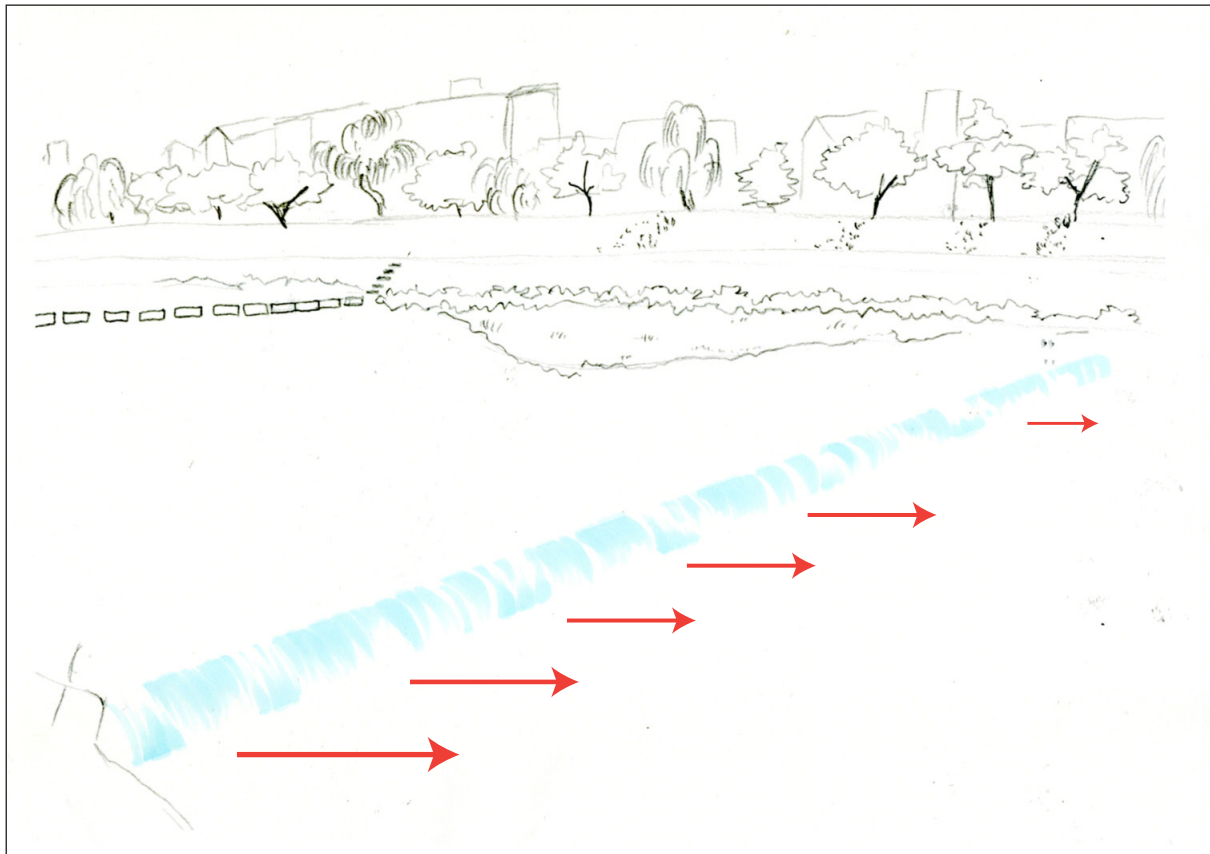
使用する道具：マスキングテープ
上からマスキングテープを貼付ける。
このようにだんだん狭まっていくように貼付ける。



使用するコピック：B000 (Pale Porcelain Blue)
コピックの筆先を使って、楕円を描くように上下方向からランダムに描き込んでゆく。
あまり力を入れすぎず、先にむかってだんだん力が抜けていく様に描いてゆく。

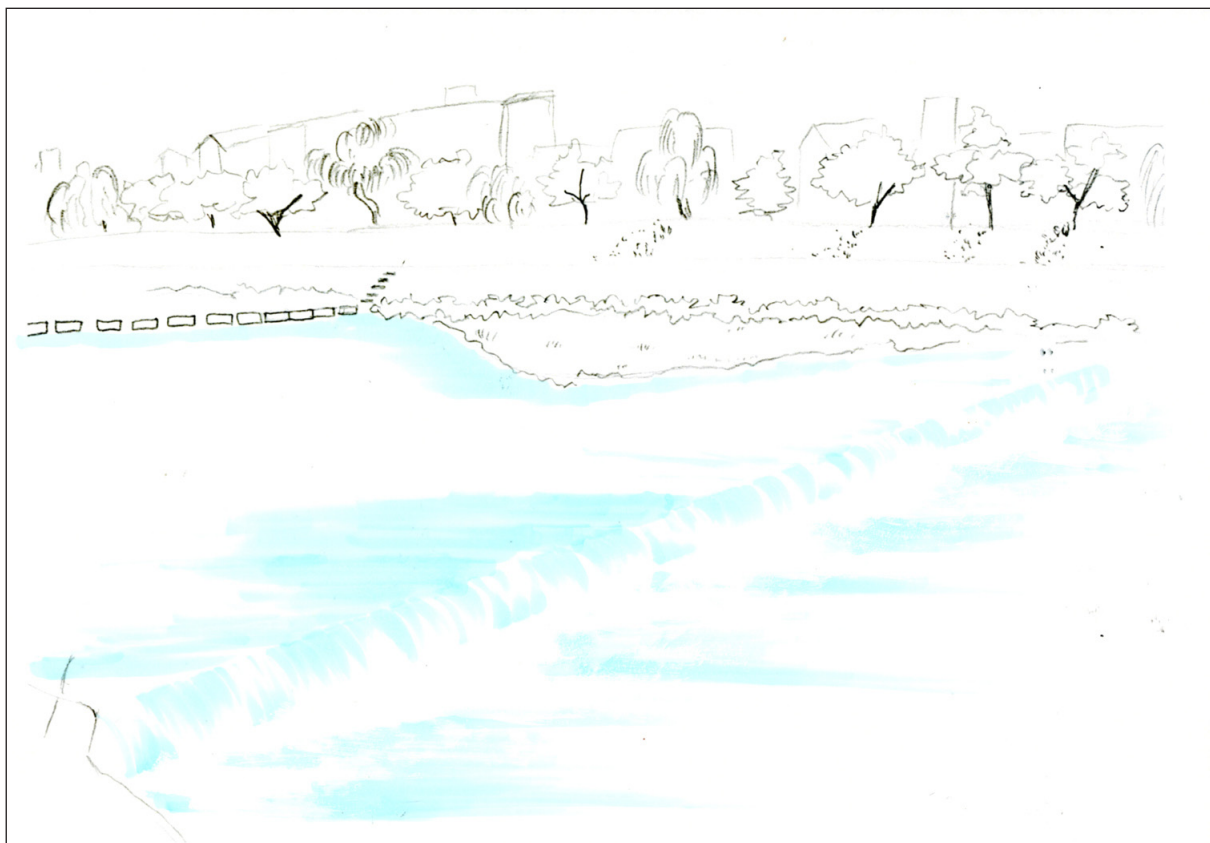
3. 個別の描き方

落差工の描き方



使用する道具；筆付き修正液

マスキングテープを剥がし、修正液の筆を使って水平方向にのばしていく。
べったり塗らずに、掠れを出す。

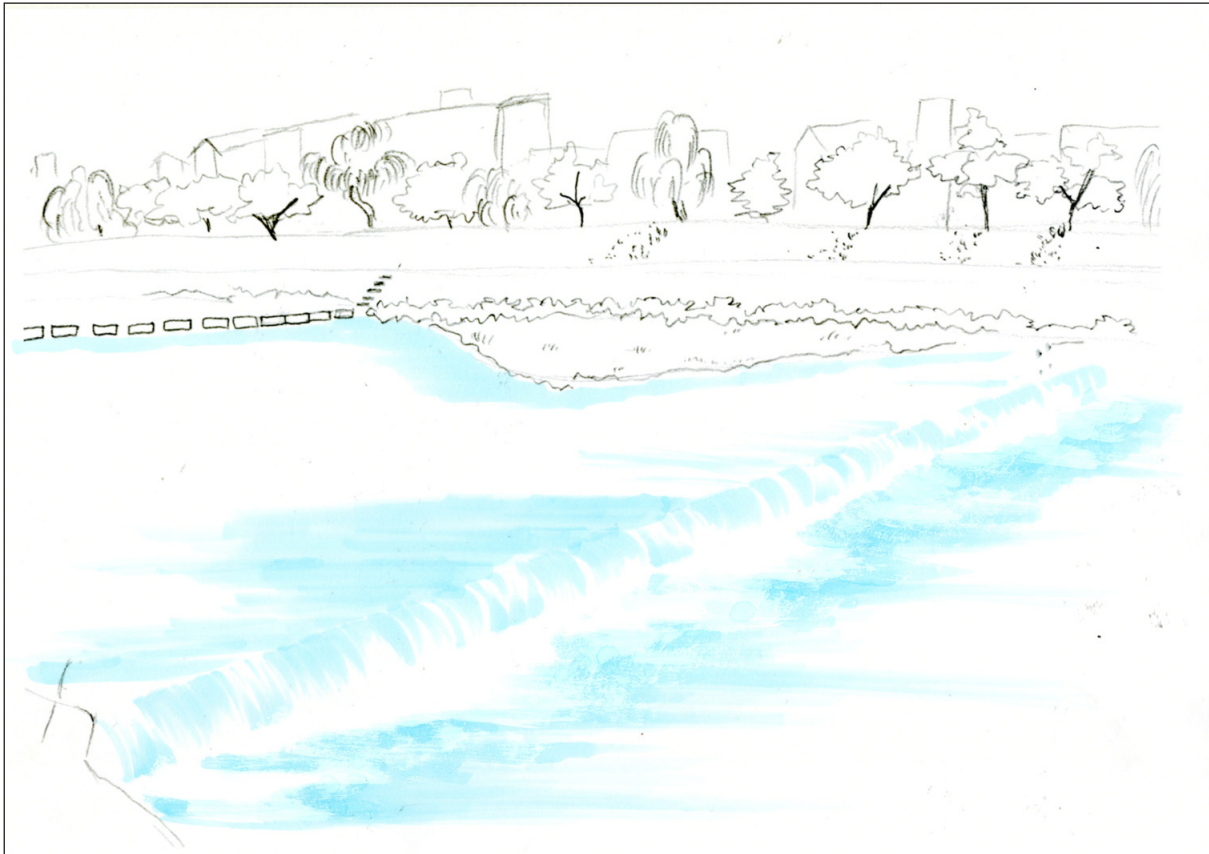


使用するコピック B000 (Pale Porcelain Blue)

コピックを水平方向にのばしてゆく。修正液で塗った箇所も多少塗ってしまっても構わない。
水面は主に近いところから塗っていき、全体に塗り過ぎないようにする。

3. 個別の描き方

落差工の描き方



使用するコピック B000 (Pale Porcelain Blue)

最後に修正液で塗った箇所に向かって塗る。すると水しぶきの深い部分ができる。